

学生・保護者の皆さまへ

武庫川女子大学

## ネットワーク環境に関する調査結果について（報告）

本学では、4月17日付で、5月8日から遠隔により前期の授業を開始することをお知らせするとともに、遠隔授業の実施にあたり、学生の皆さんの自宅等におけるパソコン・ネットワーク環境に関する調査を実施しました（調査期間：4月16日～4月22日）。

（経営学部は学科独自の調査を行ったため、今回の結果には含めていません。）

本調査には学生の皆さんにより多くの回答をいただき、分析した結果、5月8日からの遠隔授業に際し、自宅で適切に受講できる環境として、学修の公平さを保つためにいくつかの課題があることが分かりました。それらの課題については、急ぎ対応を進めてきましたが、改めて調査結果をご報告し本学の取り組みにご理解賜りたく存じます。

なお、以下の集計結果は、学校区分（大学、短大、大学院）ごとに記載しています。

### 1. 回答状況（問1～問6）

全体として、7,396人から有効回答をいただき、76.8%の高い回答率となりました（大学：78.0%、短大：76.4%、大学院：45.1%）。大学院は社会人学生が多いこともあり、回答率は半数以下となっていますが、大学・短大では学科・学年に偏りの少ない回答状況となりました。

大学	日文	英文	心理福祉	教育	健康スポーツ	生活環境	食物	情報	建築	音楽	薬学	看護	合計
1年	82.5	84.0	79.1	87.9	70.9	76.3	88.5	80.0	100.0	90.9	80.3	97.0	83.3
2年	85.2	62.7	68.2	84.6	78.6	89.1	90.3	89.9	100.0	67.3	77.3	98.1	80.7
3年	77.5	86.4	69.6	92.9	69.0	81.3	88.6	85.5	100.0	66.7	66.8	97.1	80.7
4年	63.6	72.4	62.1	72.8	56.5	76.7	88.9	68.8	95.5	64.0	61.9	94.8	70.8
5年											58.9		58.9
6年											71.7		71.7
合計	76.3	75.6	69.6	84.1	68.9	81.1	89.1	81.0	99.0	69.4	69.9	96.6	82.2

短大	日文	英文	心理人間	教育	健康スポーツ	食生活	生活造形	合計
1年	73.1	73.7	72.6	75.2	71.4	98.0	73.6	75.5
2年	82.7	73.2	69.7	78.9	76.3	79.8	79.3	77.2
合計	78.0	73.4	71.1	77.2	73.9	86.0	76.5	76.4

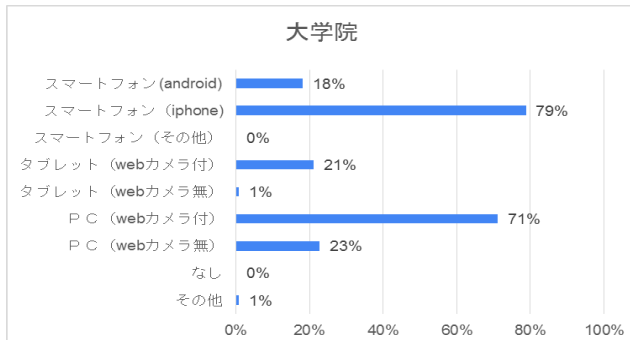
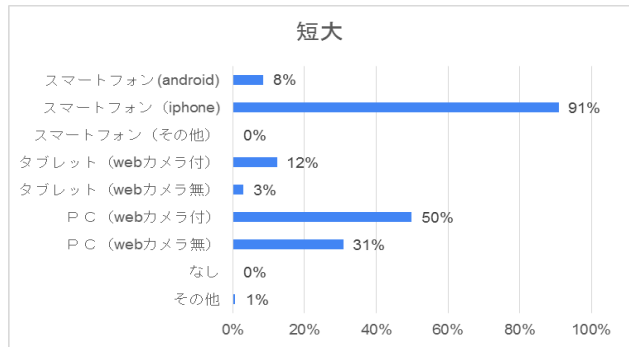
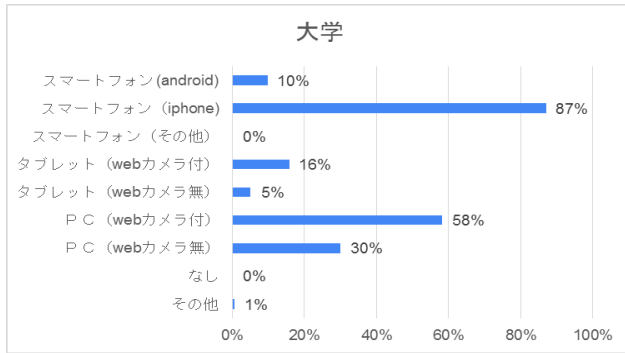
大学院	合計
合計	45.1

### 2. 集計結果

#### （1）問7. 自宅で遠隔授業を受ける上で、あなたが利用可能な端末はありますか？（複数回答）

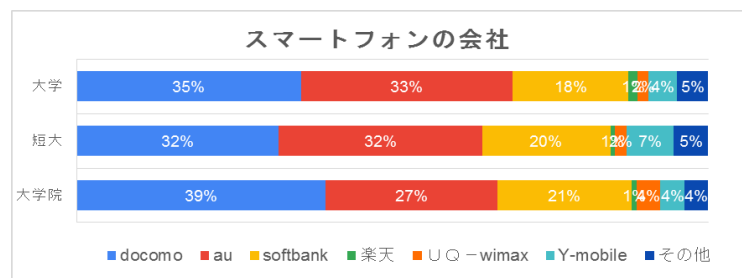
遠隔授業を受ける際に最も利用しやすい端末であるパソコンは、カメラ有・無を含め、大学（88.2%）、短大（81.7%）、大学院（93.9%）となっています。カメラ無の場合は、ライブ形式の遠隔授業の際に画像の送受信ができないため、スマートフォンを併用するなどの工夫が必要です。

一方、スマートフォン（Android、iphone）は、大学（96.8%）、短大（99.7%）、大学院（97.0%）とほとんどの学生が保有しており、スマートフォンのみの学生が全体の約13%存在しています。このため、遠隔授業ではスマートフォンを前提にした運営に配慮する必要がありますが、一部に「利用端末がない」学生もおり、文科省の指針に従い、大学の施設の一部開放などの対応を進めています。



(2) 問8. 前項で、スマートフォンを持っている人にお尋ねします。スマートフォンの会社はどちらですか？

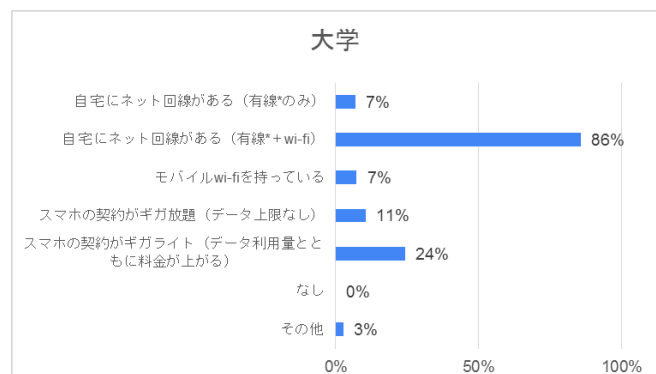
25歳以下の利用者に50GBまでの通信量無料サービスを提供している docomo、au、softbank、Y-mobile の利用率は、大学(90.6%)、短大(91.4%)、大学院(91.7%)と9割強となっています。しかし、それ以外の会社を利用している学生もあり、スマートフォンによる遠隔授業受講の際には、通信量制限に留意した対応を進めています。

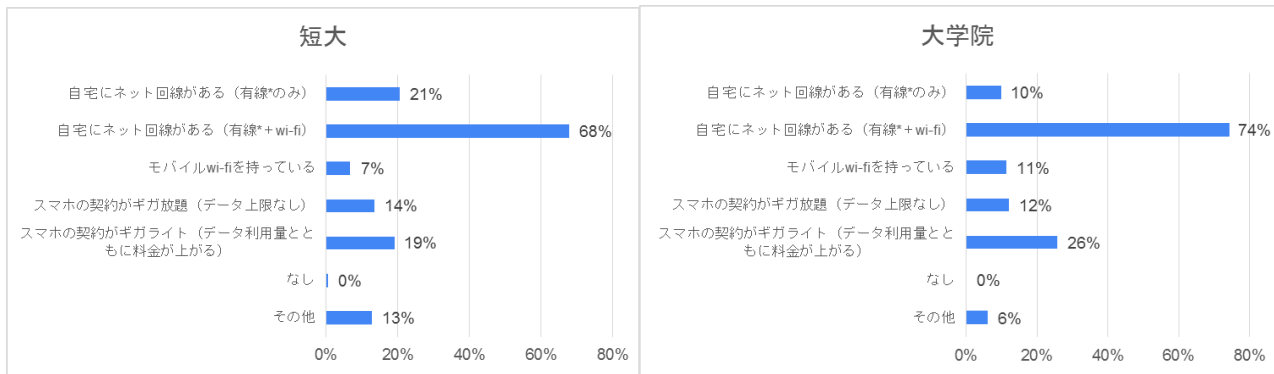


(3) 問9. 自宅で利用できるネットワーク環境はどれですか？当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

自宅にネットワーク環境がある(有線のみ、有線+WiFi)割合は、大学(92.8%)、短大(88.4%)、大学院(84.0%)で、9割前後となっています。しかし、問11. 自由記述欄には、自宅のネットワーク環境に関する不安内容として、ネットワーク環境はあっても「時々繋がらなくなる」「使えるかどうか分からない」といった記述が多く、中には自宅で利用できるネットワーク環境が「分からない」という記述も散見されます。

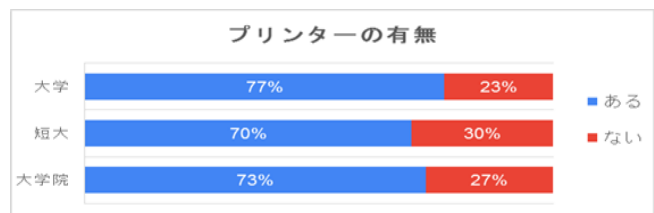
前項までの調査から、スマートフォンによる受講者も多いと予測できますが、スマホで通信料に余裕のあるギガ放題やギガライトを契約している学生は3割強となっています。通信料の上限が低い学生や「利用できるネット環境がない」とする学生もあり、履修科目数によっては通信量が不足する可能性があります。





(4) 問10. 自宅で資料を印刷するためのプリンターはありますか？

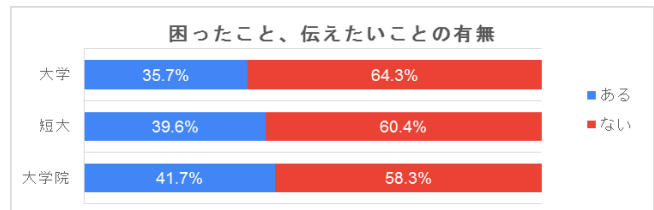
プリンターの保有率は、大学（77%）、短大（70%）、大学院（73%）となっており、自宅で印刷出来ない学生が約4分の1存在しています。しかし、問11. 自由記述欄には、印刷に関する記述として、「プリンターが無いので、コンビニで印刷するしかない。」「プリンターはあっても、インク代や紙代がかかるため極力印刷したくない。」「利用できるか不明。」といった内容も多く、これまでの大学での印刷サービスの重要性が再確認される結果となりました。今後、授業用資料の配信等にも配慮が必要と思われます。



(5) 問11. 何か困ったことや、伝えたいことがあれば自由に記入してください。（自由記述）

記入があったのは、大学（36%）、短大（40%）、大学院（42%）で、全体の約4割となっています。

記述内容を見ると、遠隔授業を行う際に必要なパソコンやプリンターなどの機器環境やネットワーク環境への不安、操作方法に対する不安などが多く、次いで遠隔授業に関する期待や不安、疑問点の他、通常とは異なる教務的な取り扱いや手続きに関すること、早めの情報提供、学費の返還及び支援、文献・図書資料の入手困難等、多岐にわたっています。



特に、ネットワーク環境については、自宅に利用可能なネットワーク環境があっても「繋がらなくなる」「遅い」といった記述も多く、また自宅のパソコンについては「家族内で共有しているため遠隔授業の際に利用できるか不明」といった学生が一定数おり、スマートフォンによる受講者は予想より多いと推測されます。

遠隔授業については、コロナ感染への不安から歓迎する意見が多い一方で、ライブ形式の授業に対しては、顔や自宅室内の映りこみを避けたい、ネット環境のある場所では受講困難といった意見もあります。また、学科によっては、遠隔授業で対応できない実習科目や、特別な環境や機材等を必要とする科目等の授業方法に対する不安の声も多く寄せられています。

その他の記述では、大学に登学できないことから、1年生の中には「友達ができない」、「履修登録の際に先輩学生のアドバイスが聞けない」といった不安や、卒業学年の学生からは就職活動や卒業論文を執筆することへの不安などがあります。

その他の記述では、大学に登学できないことから、1年生の中には「友達ができない」、「履修登録の際に先輩学生のアドバイスが聞けない」といった不安や、卒業学年の学生からは就職活動や卒業論文を執筆することへの不安などがあります。

### 3. 集計結果のまとめと本学の対応

遠隔授業の実施に先立って行った調査結果から、学修の公平さを保つための受講環境等について、以下のとおりまとめ、順次対応しています。

- (ア) 遠隔授業を行う際は、スマートフォンを前提とした授業運営とする。
- (イ) 遠隔授業の方法としてライブ授業よりもオンデマンドでの配信を科目担当者に推奨する。
- (ウ) 授業内容によっては、通信量に配慮し、動画配信以外の方法も検討する
- (エ) 一定数の学生は、遠隔授業が実施できるネットワーク環境が不十分（又は環境がない）ため、適切な対応策を実施していく。
- (オ) 遠隔授業を実施する際の環境を継続的に整備し、必要なマニュアルを提供する。

学生の皆さんに対しては、4月23日付で『遠隔授業の実施にあたっての本学の方針』を発信し、4月27日には『遠隔授業ガイドライン』を皮切りに『遠隔授業を受講する際の準備について』『遠隔授業を受講する際の注意事項について』の他、遠隔授業受講に必要なClassroom等のマニュアルを順次提供いたしました。併せて、遠隔授業を実施する際のパソコン及びソフトウェア等の操作方法については、ICTヘルプデスクでのサポート体制を整え、個別の相談にお応えしているところです。

この間、科目担当者においても、各学科を中心に遠隔授業の準備を進めており、5月8日からの遠隔授業がスムーズに効果的に行えるよう全力を尽くしています。

なお、学生の皆さんのご自宅におけるパソコン・ネットワーク環境については、基本的にはご自身での整備をお願いしていますが、武庫川女子大学では、5月1日付で学生の皆さんの学修環境整備を含めた支援を行うことを決定し、お一人一律5万円の学生支援奨学金を給付することとしました（詳細は、大学ホームページ及びinfo@MUSESに掲載しています）。

ご自宅での準備が整うまでの間は、公共交通機関を利用せず安全を確保できる場合は登学を許可し、大学の指定教室を一部開放いたしますので状況に応じてお申し出ください。

初めての遠隔授業で不安も多いことと思いますが、社会のあり方自体が大きく変わろうとしています。今後さらに社会のICT化が進むことが予想されるなか、学生の皆さんがこの変化に柔軟に対応できる力を伸ばせるよう全力で対処していきたいと存じます。

本学は、今後も定期的に学生の皆さんの遠隔授業受講に関する調査を実施し、全教職員で改善に努めてまいります。今後、遠隔授業を受講する中で支障が生じた場合は速やかに科目担当者に相談するようにしてください。

ご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。